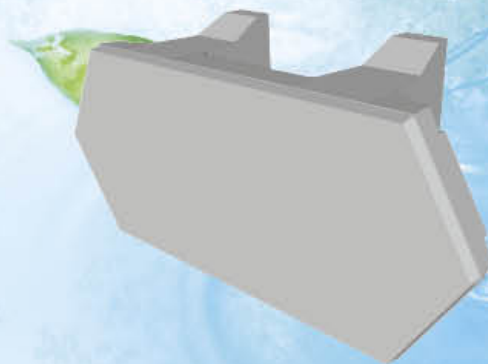


# SVブロック

谷積大型ブロック

## SVブロック



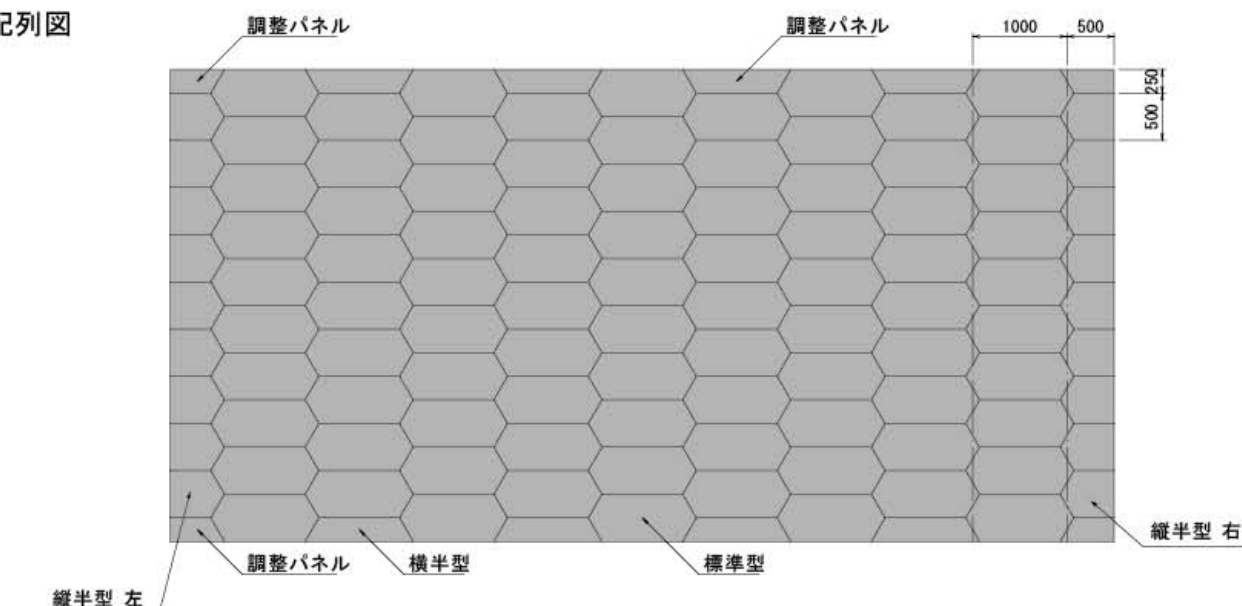
### SVブロックの特長

- 積ブロックの控長を35cmのまま大型化したブロック積擁壁で水平方向の目地が直線とならない谷積等で積み上げる形式です。
- 従来の積(間知)ブロックと同等以上の壁体重量と強度を有しています。
- 本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打による調整部分の景観性に優れています。
- 水抜きは六角形角にノックアウト形式で設置可能です。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意点※1の表面模様目地を無くし、構造目地のみとすることで景観と調和するパターンとしました。

#### ※1 護岸ブロック留意事項

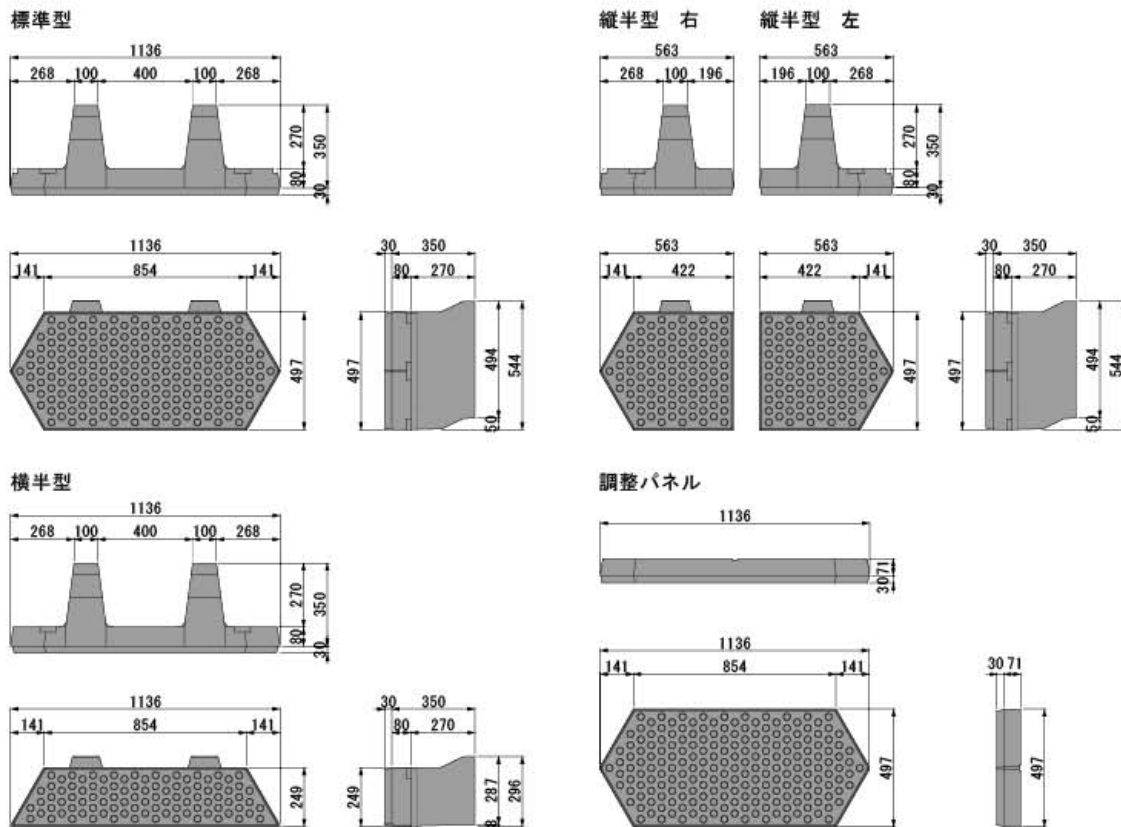
項目	判定	備考
明度	○	3.5程度(6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	粗面+凹模様
パターン	○	素材の大きさ50cm~100cm

配列図

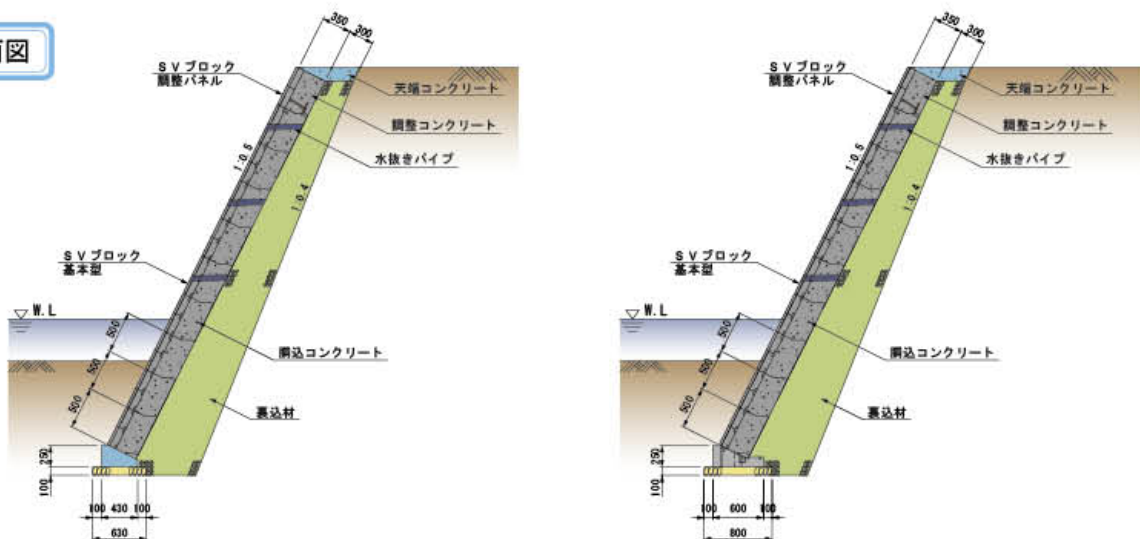


※縦半型は、正面から見て標準型の左側に配置するものを「左」、右側に配置するものを「右」と呼びます。

単体図



標準断面図



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込量 (m <sup>3</sup> /個)	使用個数 (個/m <sup>2</sup> )
標準型	普通コンクリート	196	497×1136/854×350(+30)	0.099	2.0
	7号ポーラス	178			
縦半型	普通コンクリート	97	497× 563/442×350(+30)	0.049	4.0
	7号ポーラス	88			
横半型	普通コンクリート	99	249×1136/854×350(+30)	0.048	4.0
	7号ポーラス	90			
調整パネル	普通コンクリート	108	497×1136/854× 71(+30)	0.138	2.0
	7号ポーラス	98			